

	基本方向	基本施策	狙い	実施事業	主な実績・成果	課題	
①地域産業の発展・活性化 ②新たな起業の応援	ものづくり産業の振興	地域資源の活用とブランド化 重点実施	「恵那といえばこれ！」というモノ・コト・サービスをつくる	・オリジナル木製品開発促進事業	・木工展の参加事業者数：6者（目標6者） ・木工展の来場者数：350人（目標300人）	・オリジナル製品開発 ・付加価値の高いビジネスモデルの構築	
		知恵とネットワークを生かしたものづくり	事業者連携で地産地消を進め、新たな価値をつくる			（異業種連携を促進する仕組みづくり）	
		市場開拓・販路拡大	流通を確保する			（市内産材を市内で利用してもらう流通の確保）	
	集客・交流産業の振興	集客・交流産業の振興	「恵那といえばこれ！」というモノ・コト・サービスをつくる			（体験プログラムなど観光での活用）	
		集客できる拠点の整備	楽しんでもらえる場所をつくる			（林業体験できる場の整備）	
		魅力発信 重点実施	市内外に魅力を知ってもらおう	・えなの森林魅力発信事業	・林業体験ツアー参加者数：15人（目標15人） ・山しごと手習い塾参加者数：47人（目標30人） ・市民参加型間伐モデル林事業：3人（H29年度の参加者が森林組合へ就職）	・体験から定着へつなげる仕組みづくり	
	経営基盤の強化	経営支援	時代に対応した持続する経営体制を整える			（未着手）	
		経営基盤の強化				未整備施業地の集約	
		新たな担い手発掘と育成	起業・創業しやすい環境をつくる			（未着手）	
	人材の確保・育成	人材の確保 重点実施	働きたいと思われる職場をつくる	・えなの森林魅力発信事業	・林業体験ツアー参加者数：15人（目標15人） ・山しごと手習い塾参加者数：47人（目標30人） ・市民参加型間伐モデル林事業：3人（H29年度の参加者が森林組合へ就職）	・体験から定着へつなげる仕組みづくり	
		市民が事業者を知る機会の創出	地域の人に事業者の魅力を知ってもらおう			（林業者の情報発信に関するノウハウ不足）	
		潜在的人材の発掘	まだ働いていない人に活躍してもらおう			（未着手）	
		人材育成 重点実施	伝統や文化、技術を伝え、次の担い手を育成する	・オリジナル木製品開発促進事業	・木工展の参加事業者数：6者（目標6者） ・木工展の来場者数：350人（目標300人）	・オリジナル製品開発 ・付加価値の高いビジネスモデルの構築	
	③バランスの取れた企業誘致	産業基盤の強化	企業立地の促進	地域に必要な企業を誘致する			（未着手）
			地域の個性を生かした産業基盤の強化				（未着手）